



ITスクールの運営、企業研修、
エンジニア派遣などを手がける
株式会社シンクスバンク

(www.kenschool.jp) より、
キャリアカウンセラー、採用、
セミナー講師としてご活躍され
ている秋間 剛さんをお迎えし
てお話を伺いました。

第四回 将来について考える –アジア・日本・ジェネレーション–

Formula (以下F) 皆さんにお聞きしているのですが、我々Formulaの印象を教えてください。

秋間 (以下A) 表現は難しいですが、いいことをされていると思います。人材ビジネス的には儲かるのかなと思うところもありますが、おもしろいことをされているなという印象です。私は採用側、志願者側のどちらに対しても本当のことを知って欲しいと思っていて、そういう意味で中立だと思っています。お互いにお互いを全てをわかった上で就職活動をする、いい雇用が起こると思っています。その点はFormulaさんのとられている立場とは違いますね。これはまったくの私見なんですが、日本の就職活動はアメリカにくらべると、取る側も受ける側も圧倒的に両方とも武器も持たずにやっているなというイメージなんです。就職転職サイトに載せたりで、使っているのはお金だけ。受ける側もWebサイトに出てこない会社には目が行かなくなっていたり。アメリカなら、例えばLinked InみたいなSNSが就職転職ツールとして発達しているように見えます。そもそものスタンスが採用活動をするというよりは、ふれあう人数を増やしてその中でいい人がいたら採用していくみたいな感じで。採用ありきじゃないことをやっている

ように思います。それを日本に導入しようとしているのが仲さんというfacebook出身の方が始めているWantedly(<https://www.wantedly.com/>)というサービスです。ああいう感じが今後の就職・転職の形としてよいのではと思っています。比較的新しい会社は積極的にやろうとしてたりしますね。触れ合っていく内にお互いがお互いのことをいいねと思い、その延長線上で一緒に働き始めるというのがいいと思っています。Formulaさんもいいことをされているのは間違いないのですが、転職志願者に100%寄っていますというのが印象的です。だからこそビジネスチャンスがあるのかなとも思います。中立っていうのは難しくて本当の中立にこだわるなら行政とかNPOじゃないと難しいのかなというのが素直な意見です。

F 我々のサービスをお話しすると行政がやるべき仕事ですよと言われることが本当に多いです。実際にアメリカでは行政がやっているサービスなんですね。だからこそ絶対に必要なサービスだと思ってやっています。最後に秋間さんの将来について聞かせてください。

A 頑張ろうとしている人にチャンスを与えられる場作りをしたいと言うのが将来やりたいことです。言い方は悪いですが、駄目な人を救おうとやっていうのはもういいと思うんですよ。今後の日本は上下二極化が進むと思っています。だったら上に行く人の比率を増やしていけたらいいなと思っています。二八の法則とか言われますよね。中間層の人たちを上層に導いてあげて三七とか四六にできたら、その方がずっと日本の将来にいいんじゃないかと思っています。

F それは今の仕事の延長線上で考えていますか？

A 日本の転職事情で一番の問題は、転職すればするほど年収が下がるという点です。転職するほど、どんどん下流層に移っていくんです。私の分析は、企業は志願者のことをよくわからないまま採用する、言わばお試しで使ってみようという感じなんです。さらに入社後は採用活動した人と違う人と一緒に働いて。そういう環境でお試しで仕事をさせられている入った人もなかなか成果が出せなくて。こういう悪循環に陥っているケースがたくさんあると思うんですよ。十分な期待と報酬を準備できるという意味で、もっと企業と転職者がフラクに話せる転職活動がいい就職に繋がると思っています。それを実現するためにも、今の会社でならそういう就職斡旋を進めたいと思っています。

F 具体的な将来のチャンスはどのあたりにあると考えますか？

A ホームページ作成という仕事を将来したいと考えたら、例えば先ず東南アジアに出て行くのも一案だと思います。現地では日本の何分の一かの生活費で生活を送れますよね。そこで何年かWeb制作しながら生活して、英語も同時に身につけて日本に戻ってくる。日本に戻ってきた時には、同じWeb制作という仕事であっても、もっと好条件の企業に就職できるチャンスをつかめるという風になるんじゃないかと思っています。二十代の人なら、なおさらトライする価値がある選択肢じゃないかと思っています。アジア就職と言う時、アジアの会社に就職するというよりはアジアをうまく使って日本人がもっとアジアを勉強すればいいんじゃないかなと思いますね、最近特に。日本にいて片手間で英語をちょっと勉強してもなかなか身につけるのが難しいと思うんですよ。それならば、例えばフィリピンに行って現地の英語を肌で感じながら覚える。コミュニケーションレベルという意味ではそれで十分だと思うんですよね。そして、その英語力を使って日本に帰ってきて海外向けのネットショップをやる方が実際に仕事に結び付けられますし、おもしろいんじゃないかと思っています。

F 具体的に将来にむけて準備を始められていますか？

A アジア就職の支援はやっています。HRM協会(<http://www.hrm.or.jp/>)という、ベトナムで無償治療されている服部先生という眼科医の方を支援している協会なんですけど、その協会員さんを通じてアジアとのつながりや人脈を増やそうと思っています。実は、個人的な思いも同時に持っていたりするんですけど、私には小一と小三の息子と娘がいて、五年、十年後の日本を考えると、アジアに出ていく選択肢も視野に入れて将来を考えて欲しいなと思っています、特に男の子には。それならば、父親である私がそういう仕組みや人脈を作ってあげておけば、という思いもあったりします。最近知り合った人が言われた話なんですけど、年収低いながらにおもしろおかしく生きるか、資本経済で働こうとしてアジアに出て行くかしか将来の選択肢はない、と。最終的には子供が選ぶべきことであるとは思いますが、確かにそうかなと思う部分があります。

F 目標達成に向けた時間的な計画イメージはありますか？

A 会社の事情がからむので、目標達成時期については具体的に年数を持たないようになっています。ただ、就職支援とか研修セミナーでよく話すことな

んですが、昨日より今日の方が進化していると思う毎日を過ごそうね、と声をかけていて、自分自身にもそれを当てはめていますね。毎日歩みを止めずに目標に向けて少しずつでも進んでいくというイメージでしょうか。

F 目標があるからこそいえることですね。いい言葉だと思います。今後のご活躍をお祈りしています。どうもありがとうございました。

2012 Formula Inc. all rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.

本站内图文请勿随意转载 / 本站内圖文請勿隨意轉載

게시물 무단 전재 복사 배포 등을 금지합니다

Gebrauchen die Bilder ohne Genehmigung verboten.